



防災情報

防災に関するいろいろな情報について知っておこう！

防災情報を入手するには？

テレビやラジオのほかに、インターネットでも防災情報が提供されているので、気象や災害の情報、避難行動に必要な情報をパソコンやスマートフォンで入手できるようにしておきましょう。

幕別町

防災情報メール 防災公式LINE

町から「防災情報」などをメール、LINEにより提供

- ・防災情報メール
- ・防災公式LINE



QRコードを読み込み、空メールを送信。返信されたメールに従い登録する。



QRコードを読み込み、友達に追加する。

国土交通省

キキクル



<https://www.jma.go.jp/bosai/risk>

川の防災情報



<https://www.river.go.jp>

北海道

北海道 防災ポータル



<https://www.bousai-hokkaido.jp/>

北海道士砂災害 警戒情報システム



<https://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/>

北海道防災情報メール

あらかじめ登録されたメールアドレスに指定した情報（気象情報や避難情報）が発表されるとメールが配信されます。



登録はこちらから

幕別町

防災の しおり

2023年8月
保存版



この防災のしおりは公益財団法人北海道市町村振興協会(サマージャンボ宝くじの収益金)の助成を受けて作成しています。



わが家の防災メモ

いざというときに備えて記入しておきましょう！（P16~P19 参照）

	大雨（洪水）の時	地震・津波の時	土砂災害の時
指定緊急避難場所			
指定避難所			

家族が離れたときの集合場所

家族・親族・知人の連絡先				
名前	生年月日	血液型	持病等	会社・学校または携帯電話番号
	T・S H・R . .	型 RH(+・-)		
	T・S H・R . .	型 RH(+・-)		
	T・S H・R . .	型 RH(+・-)		
	T・S H・R . .	型 RH(+・-)		
	T・S H・R . .	型 RH(+・-)		

緊急連絡先

役 場		
住民生活部 防災環境課		0155-54-6601
忠類総合支所 地域振興課		01558-8-2111
札内支所		0155-56-2111
糠内出張所		0155-57-2140
駒島出張所		0155-57-2171
消 防	119	警 察 110



災害時の伝言サービスを知っていますか？

171 災害用伝言ダイヤル

災害発生時は、安否確認、問合せなどの電話が爆発的に増加し、電話がつながりにくい状況が続きます。NTTでは、災害時に限定して利用可能な「災害用伝言ダイヤル(家庭などの固定電話番号を入力し、メッセージを録音・再生できるサービス)」を提供しています。(一般電話、携帯電話から利用できます。)

携帯電話各社の災害用伝言板

携帯電話やスマートフォンを利用して安否を登録・確認できるサービスです。大規模な地震や風水害などで被災地との連絡が困難になった場合に災害伝言板が開設されます。

- ① 各社トップページに表示される「災害用伝言板」を選択する。
- ② 伝言を登録する場合は「登録」を選択して、現在の状態やコメントを残す。
伝言を確認する場合は「確認」を選択して、安否確認したい人の携帯電話の番号を入力して検索する。

詳しい利用方法は携帯電話会社のホームページなどで確認しておきましょう。

【しおりの問い合わせ先】幕別町役場防災環境課防災危機管理係 TEL:0155-54-6601

伝言の録音方法

171 にダイヤルする

ガイダンスが 流れます

録音の場合 1

ガイダンスが 流れます

(××××)××-××××

自宅などの固定電話の電話番号を市外局番からダイヤルして登録する

ガイダンスが 流れます

録 音

声を約30秒吹き込める。

※伝言保存期間は録音してから48時間

伝言の再生方法

171 にダイヤルする

ガイダンスが 流れます

再生の場合 2

ガイダンスが 流れます

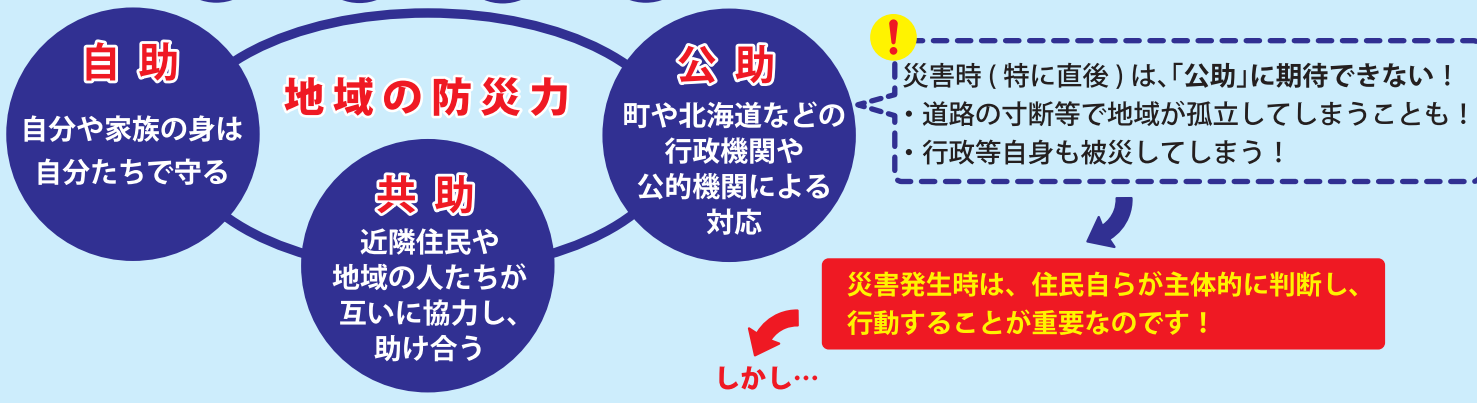
(××××)××-××××

左記のように登録された被災地の方の固定電話番号を市外局番からダイヤルする

ガイダンスが 流れます

再 生

防災理念



災害は怖いものだとは思っているけれど、
どこかで「自分には起きない、自分は災害に遭わない」と思っていないですか？

人には、「たぶんだ丈夫」「自分は大丈夫」と自分に都合良く考えてしまう傾向(正常化の偏見)があります。しかし、災害はいつでもどこでも起こりうるものであり、私たちは正常化の偏見を捨てて、「災害に遭うリスクは必ずあって、被害はゼロにすることはできないものだ」と認識する必要があるのではないのでしょうか。一方で私たちは何もできないということではなく、日頃から災害をイメージし、いかなる災害でも失ってはならないものは何なのかを意識し、**生き抜くスキル**を持つことでどんな時でも前向きに減災につなげていくことができるのです。では、**生き抜くスキル**とは何なのでしょう？それは… **予測情報から判断する力** と **自ら行動する力** です！そしてこれらを高めていくには、防災を**知る**が必要になってきます。そこで…



- 災害の恐ろしさを知る
- 災害の特徴を知る
- 地域の特性を知る
- 過去の災害を知る
- 災害に備えるために何をしておけばよいかを知る
- 災害の時、どう行動するのかを知る などなど…

まずは防災について「知る」ことから始めてみよう！

わが家の防災メモ 1

防災理念／もくじ 2

地震・津波① 地震・津波がもたらす危険について知っておこう！ 3

地震・津波② 地震に備えて 4

地震・津波③ 地震が起きたら!! 5

地震・津波④ こんなときに地震に遭ったら 6

地震・津波⑤ 幕別町に被害を及ぼす地震 7

風水害① 風水害がもたらす危険について知っておこう！ 8 ~ 10

風水害② 風水害に対して何をすべきか知っておこう！ 11

風水害③ 避難について知っておこう！ 12

火災 火災の予防と対処のしかたについて知っておこう！ 13

要配慮者・避難行動要支援者とは？ 14

防災グッズを備えよう！ 15

【行政区別】指定緊急避難場所 16 ~ 17

【行政区別】指定避難所 18 ~ 19

指定緊急避難場所一覧／指定避難所一覧 20 ~ 21

自主防災組織とは？／応急処置 22

避難所での生活 23

防災情報 防災に関するいろいろな情報について知っておこう！ 24

災害時の伝言サービスを知っていますか？ 24

もくじ



地震・津波① 地震・津波がもたらす危険について知っておこう！

揺れの大きさと想定される被害

震度0 人は揺れを感じない。 	震度1 敏感な人や、静止している人がわずかな揺れを感じる。 	震度2 屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。戸や電灯などがわずかに揺れる。 	震度3 屋内にいるほとんどの人が揺れを感じる。家具や木々が揺れる。 	震度4 かなりの恐怖感がある。花瓶などの座りの悪い置物が倒れることがある。
震度5弱 多くの人が身の安全をはかろうとする。棚にある食器類や書籍が落ち、固定していない家具が移動することがある。 	震度5強 多くの人が行動に支障を感じる。重い家具や自動販売機が倒れることがある。 	震度6弱 立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。壁のタイルや窓ガラスが破損・落下する。 	震度6強 立っていることができない。耐震性の低い木造建物は傾くものや倒れるものが増える。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。 	震度7 自分の意思では行動できない。耐震性の高い木造建物でもまれに傾くことがある。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

津波警報・注意報から予想される津波の高さと想定される被害

	予想される津波の高さ		想定される被害	とるべき行動
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表現		
大津波警報	10m超(10m<高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。	沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
	10m(5m<高さ≤10m)			
	5m(3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m(1m<高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！
津波注意報	1m(20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。	海の中にいる人は、直ちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。

- 震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
- 津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
- 地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報(若干の海面変動)」を発表します。(出典：気象庁)

身の安全の備え

家具類の転倒・落下・移動防止の対策をしておこう!

- 本棚・タンス、テレビ・パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をとっておく。
- けがの防止や避難に支障の無いように家具を配置しておく。



けが防止の対策をしておこう!

- 散乱物でけがをしないように、スリッパやスニーカーなどを身近に準備しておく。
- 停電に備えて懐中電灯をすぐ使える場所に置いておく。
- 食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておく。



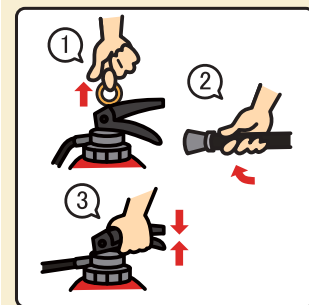
家屋や塀の強度を確認しておこう!

- 家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- ※P6「幕別町 木造戸建て住宅 無料耐震診断について」を参照
- ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないよう補強しておく。



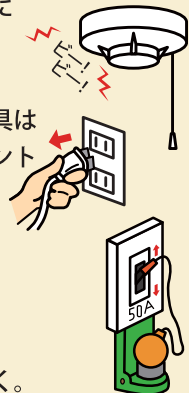
消火の備えをしておこう!

- 火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置きをしておく。



火災発生の早期発見と防止対策をしておこう!

- 火災の早期発見のために住宅用火災警報器を設置しておく。
- 普段使用しない電気器具は差込みプラグをコンセントから抜いておく。
- 電気やガスに起因する火災発生防止のため感震ブレーカー、感震コンセントなどの防災機器を設置しておく。



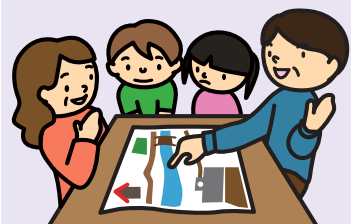
防災グッズを準備しておこう!

- 防災グッズは、置く場所を決めて準備しておく。
- 車載ジャッキやカーラジオなど、身の回りにあるものの活用を考えておく。



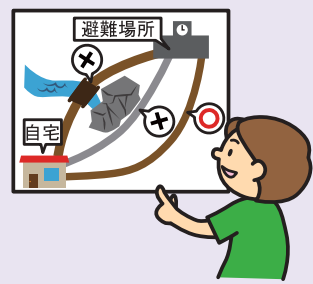
家族で話し合っておこう!

- 地震が発生したときの出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。
- 外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所を決めておく。
- 家族で避難場所や避難経路を確認しておく。
- 普段のつきあいを大切にするなど、隣近所との協力体制を話し合っておく。



地域の危険性を把握しておこう!

- 地域の防災マップに加えて、わが家の防災マップを作っておく。
- 自分の住む地域の災害危険度を確認しておく。



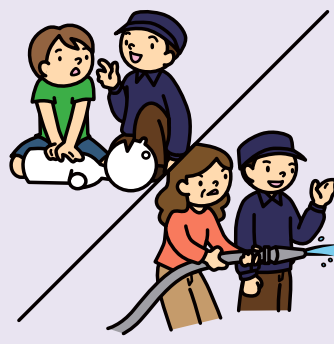
防災知識を身につけておこう!

- 新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから防災に関する情報を収集し、知識を身につけておく。
- 消防署などが実施する講演会などに参加し、過去の地震の教訓を学んでおく。



防災行動力を高めておこう!

- 日頃から防災訓練に参加して、身体防護、出火防止、初期消火、救出、応急救護、通報連絡、避難要領などを身につけておく。



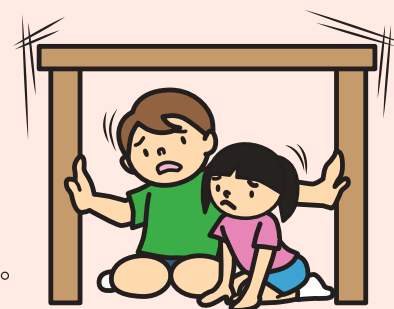
※幕別町では、防災の出前講座を実施しています。
「地震・風水害に備えて(防災基礎講座)」(担当:防災環境課)
→詳しくは…
幕別町ホームページ(ホーム > くらし・手続き > 地域の活動 > まちづくり出前講座)

確かな行動の備え

地震発生時の行動

地震だ! まず身の安全確保!

- 揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたときは、身の安全を最優先に行動する。
- 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。



落ち着いて火の元確認 初期消火

- 火を使っているときは、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- 出火したときは、落ちついて消火する。



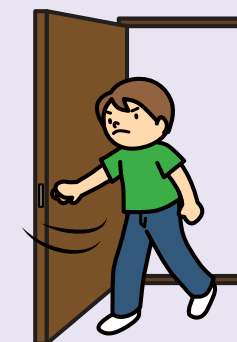
あわてた行動 けがのもと

- 屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- 窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。



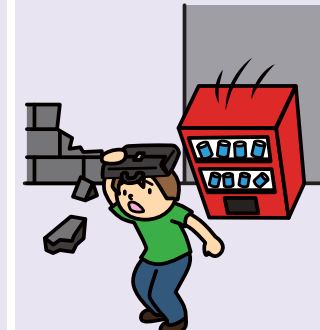
窓や戸を開け 出口を確保

- 揺れがおさまってから、避難ができるよう出口を確保する。



塀や自動販売機には近寄らない

- 屋外で揺れを感じたら、ブロック塀や自動販売機などには近寄らない。



地震直後の行動

火災や津波 確かな避難

- 地域に大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら、一時集合場所や避難場所に避難する。
- 沿岸部では、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く避難する。



正しい情報 確かな行動

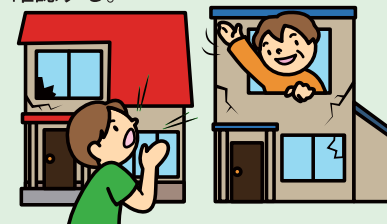
- ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。



地震後の行動

確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

- わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



協力し合って 救出・救護

- 倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



避難の前に安全確認 電気・ガス

- 避難が必要などときには、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。



シルシル防災

地震・津波④

こんなときに地震に遭ったら…

スーパーなど

手荷物やかごなどで頭を守り、ショーケースの転倒や商品の落下、ガラスの破片などに注意する。

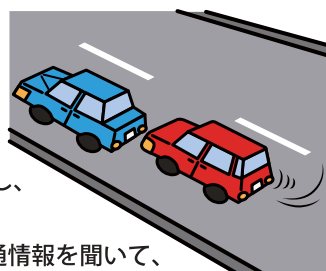


エレベーター

- 乗っているときはすべての階のボタンを押し、最初に停止した階で降りる。
- 閉じ込められた場合は非常ボタンやインターホンで外部に連絡をして救助を待つ。危ないので無理矢理脱出しないようにする。

車の運転中

- 大地震が起こると、ハンドルをとられて運転が困難になるので、急ブレーキをかけず徐々に減速し、道路の左側に寄せて駐車する。
- カーラジオなどで地震情報や交通情報を聞いて、その情報や周囲の状況に応じて行動する。



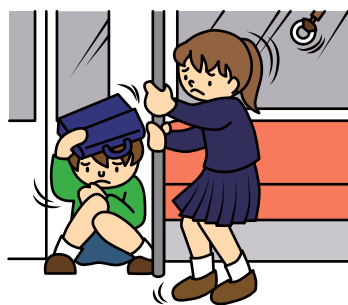
車から避難する場合

- 交差点を避け、道路の左側に寄せて駐車する。
- エンジンを止め、エンジンキーはつけたままにする。ドアはロックしない。窓は閉めておく。
- 貴重品は車内に残さないようにする。
- 名前、連絡先、どこに向かって避難したかを書いたメモをフロントガラスから見えるところに残しておく。



電車やバスの中

- 座席に座っているときは、頭部を保護して姿勢を低くする。
- 立っているときは、つり革や手すりにしっかりつかまり転倒を防止する。
- 線路内は感電したり、他の電車にひかれるおそれがあるので、乗務員の指示があるまで車外に出ないようにする。



路上

切れて垂れ下がっている電線は感電の危険がある。また、ガス漏れていると思われる場所や道路が液状化したり陥没しているところには絶対に近づかない。

山やがけの近く

山全体が大きく崩れたり、余震により土砂崩れが起きることもあるので、落石に注意し、直ちに平らで安全な場所へ避難する。

避難したあとは…

- 海岸や河口、山や崖の近くには絶対に様子を見に行かないようにしましょう！
特に津波の場合は繰り返し襲ってきたり、第1波より第2波以降の方が大きな津波がくる可能性があるため、警報・注意報が解除されるまでは安全な場所にとどまろう！
- 避難場所に避難しても、より安全な場所へ避難するように心がけよう！



シルシル防災

地震・津波⑤

幕別町に被害を及ぼす地震

幕別町に被害を及ぼす地震は主に、陸域の浅い場所で発生する地震（内陸型地震）と、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生する地震（海溝型地震）です。

内陸型地震

- 【十勝平野断層帯（主部）】
- マグニチュード 8.0 程度
- 今後 30 年以内の発生確率 0.1 ~ 0.2%

海溝型地震（千島海溝沿いの地震）

- 【超巨大地震（17世紀型）】
- マグニチュード 8.8 以上
- 今後 30 年以内の発生確率 7 ~ 40%
- 【十勝沖地震】
- マグニチュード 8.0 ~ 8.6 程度
- 今後 30 年以内の発生確率 10%程度



北海道・三陸沖後発地震注意情報について

日本海溝・千島海溝周辺でマグニチュード 7.0 以上の大きな地震があった場合に、周辺でさらに大きな地震が発生する可能性があることへの注意を促す「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が内閣府・気象庁から発表されます。

後発地震注意情報が発表されたら

- 日頃からの地震への備えを再確認し、地震発生後、特に1週間の間は、揺れを感じたらただちに避難できる態勢を整えるようにしておきましょう。
- なお、後発地震注意情報が発表されたとしても、必ず巨大地震が発生するとは限りません。

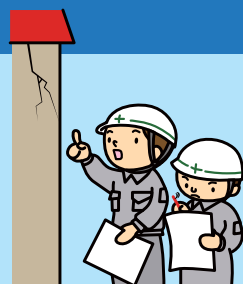
後発地震の発生に備えた防災対応

- 非常持出品の常時携帯
- 緊急情報の取得手段の確保
- 日頃からの備えの再確認（備蓄食品の賞味期限、家具転倒防止板）
- すぐに逃げ出せる態勢での就寝（枕元に靴などを置いて寝る）など

幕別町 木造戸建て住宅無料耐震診断について

木造戸建て住宅は無料耐震診断を受けられます！

幕別町には十勝平野断層帯主部が南北方向に縦断しており、もしこの断層を震源とする直下型地震が発生した場合、マグニチュード 8.0、最大震度 7 と本町に大きな被害をもたらすと言われており、十分警戒が必要です。また、日本海溝・千島海溝周辺の海溝型地震などの発生も迫っているといわれ、いつ大規模地震が発生しても不思議ではありません。地震の発生は食い止められませんが、『住宅の耐震化』によって被害を大幅に減らすことができます。この機会に、ぜひ、幕別町の無料耐震診断をご利用ください。



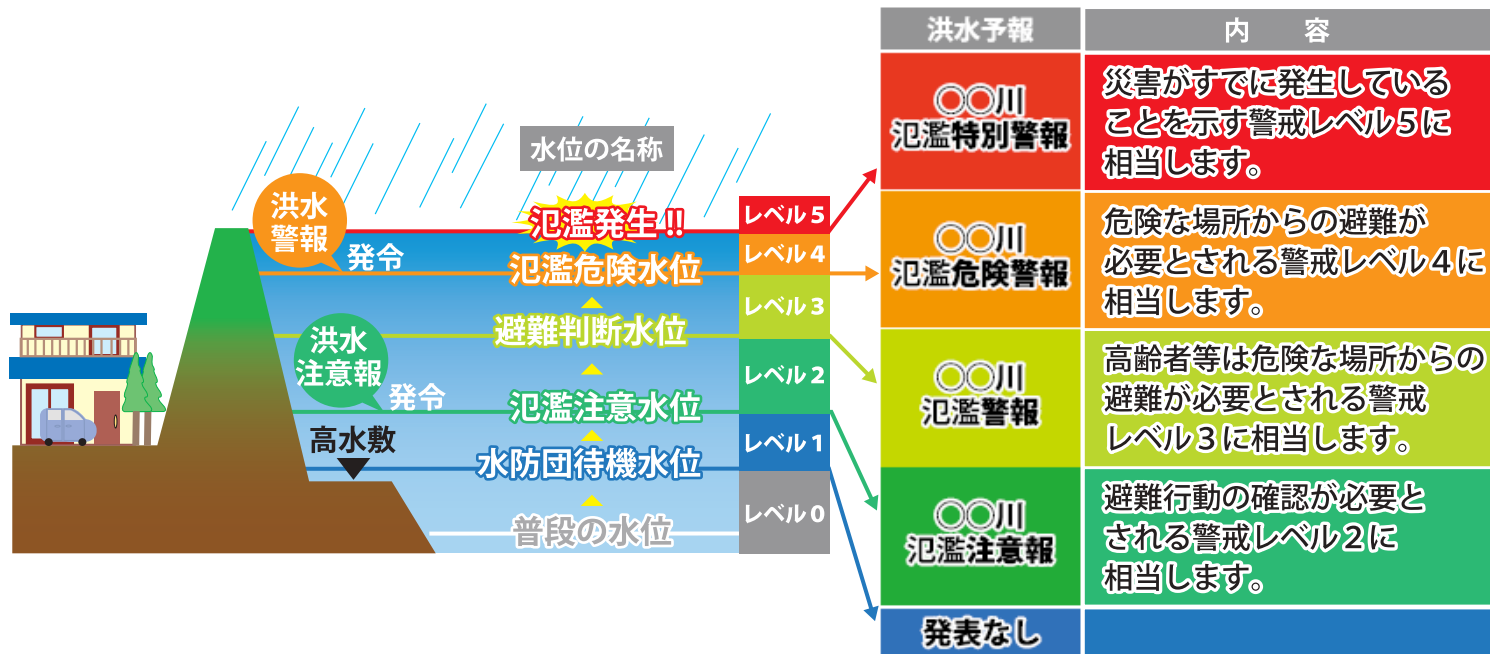
木造戸建て住宅無料耐震診断の 対象条件・診断方法・必要書類等の詳細については…

- 幕別町役場 都市計画課 建築係
〒089-0692 北海道中川郡幕別町本町 130 番地 1
電話 0155-54-6623（土日・祝日を除く平日の午前 8 時 45 分から午後 5 時 30 分）
- 幕別町ホームページ「木造戸建て住宅無料耐震診断のご案内」をご覧ください。
（ホーム > くらし・手続き > 住宅・建築 > 耐震・リサイクル情報 > 木造戸建て住宅無料耐震診断のご案内）

大雨がもたらす危険とは？

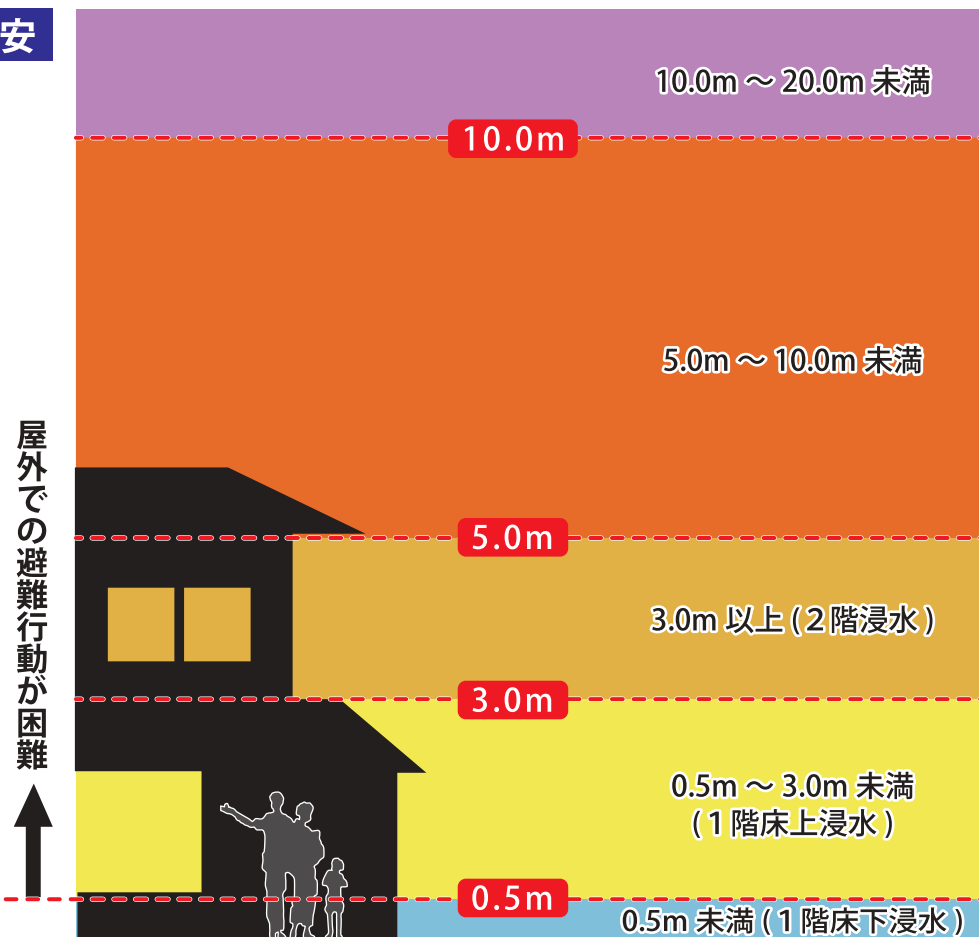
①河川の増水・氾濫

国土交通省(帯広開発建設部)は、気象庁(釧路地方气象台)等と共同して、あらかじめ指定した河川(町内の指定河川は、十勝川、札内川、途別川)の洪水予報を発表します。(洪水予報の伝達方法等は、P11に記載しています。)洪水予報は、報道機関のほか、気象庁や国土交通省のホームページからも閲覧することができます。



②家屋の浸水・浸水深の目安

- 洪水(河川の氾濫)によって、市街地や家屋、畑が水で覆われることを浸水といい、その深さを浸水深といいます。(道路や農地が水で覆われることを冠水ということもあります。)
- 一般の家屋では、浸水深が50cm未満の場合は床下浸水、50cm以上になると床上浸水する恐れがあり、3m以上では2階も浸水する恐れがあるため、2階への避難ができません。
- ハザードマップにより、自宅が浸水するか、浸水深はどのくらいか、避難ルートは浸水するかなどを確認しておきましょう。



③土砂災害

土砂災害は、大雨、長雨、融雪、地震などがあつたときに、山や崖などの斜面が崩れ落ちていく災害です。近年は増加傾向にあり、突然発生することから被害が大きくなります。危険を察知するためには、事前に土砂災害に関する正しい知識を得ておくことが大切です。

急傾斜地の崩壊	土石流	土砂災害警戒区域等について
<p>地面に雨水や雪解け水が大量にしみこんだり、地震の揺れによって、急な斜面が突然一気に崩れ落ちる現象。</p> <p>こんな前ぶれ現象が起きたら注意！</p> <ul style="list-style-type: none"> ■小石がばらばら落ちてくる。 ■斜面に割れ目ができる。 ■斜面から水が湧き出す。 	<p>山や谷の土や石が、大雨などでくずれ、水と混じってどろどろになり、激しく流れていく現象。</p> <p>こんな前ぶれ現象が起きたら注意！</p> <ul style="list-style-type: none"> ■山鳴りがしたり、ドーンという音、ゴロゴロという音がする。 ■雨が降り続けているのに、川の水が急に減り始める。 	<p>土砂災害警戒区域(イエローゾーン) とは、土砂災害が発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域で、警戒避難体制を特に整備すべき区域です。</p> <p>土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン) とは、土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域で、一定の開発行為や居室を有する建築物の構造が規制されている区域です。</p> <p>幕別町の土砂災害警戒区域等の位置は別紙ハザードマップをご覧ください。また、土砂災害警戒区域等のハザードマップは、区域ごとに作成していますので、町のホームページをご覧ください。</p>

強風・暴風がもたらす危険とは？

- 強風・暴風のときは、樹木が倒れたり、屋根が飛ばされたりするので外を歩くのは大変危険です。室内にいてもガラス窓に物が飛んできて割れることがあるので、カーテンを閉めることも大切です。
- また、電線が切れたり、平均風速40m/s以上では電柱が倒れて停電になることがあります。
- 暴風警報、暴風雪警報、強風注意報が発表されたときは、その場に応じた行動をとり、停電に備えて非常備蓄品を準備しておきましょう。



暴風雪がもたらす危険とは？

暴風雪に関する気象警報などが発表されたときは、不要不急の外出をしないことが身の安全を守るための最善の対策です。暴風雪から身を守るための対策を日頃から理解し、いざというときに備えてください。

家の中の対策 家の中でも暴風雪対策が必要です。次のような対策で、身の安全を確保できます。

- 一酸化炭素中毒防止のため、FF式暖房機の給排気口付近の降雪状況を確認しましょう。
- 停電に備えて、懐中電灯、携帯ラジオなどの準備をしておきましょう。
- ポータブルストーブやカセットコンロを使用する場合は、30分に一度は、しっかり換気しましょう。
- 外出できない場合に備えて、食料や飲料水、日頃から服用している薬などを備蓄しておきましょう。

外出時の対策 やむを得ず車で外出する場合は、万が一のために、防寒具、食料、スコップなどを用意しましょう。

車内対策

- 暴風雪によってホワイトアウトが発生すると、方向感覚を失い、道に迷う危険性があります。おさまるまで車内で待ちましょう。
- 近くにコンビニや道の駅がある場合には速やかに避難しましょう。
- マフラーが雪に埋まると一酸化炭素(CO)が充満して命に危険が及びます。吹きだまりに閉じ込められるなどの際にはエンジンを停止して、防寒具などで温かさを保ち、救助を待ちましょう。
- 冬場は燃料を十分に保ちましょう。



積乱雲の発生がもたらす危険とは？

積乱雲は天気を急変させ、その下では竜巻、雷、ひょうや強い雨が降り、大きな被害につながる可能性があります。積乱雲が近づいているサインに気づいたら、安全な場所に避難しましょう。

積乱雲が近づいているサイン

こんな時は安全な場所に避難しましょう



局所的大雨に注意！！

局所的大雨は積乱雲の発達により発生し、警報等が発令されていなくても急に強い雨が降り出し、短時間で河川が増水するなど急激に危険な状態になるものです。また、自分のいる場所で雨が降っていても、上流に降った雨で急に川が増水することがあります。水かさが増し始め、濁った水や流木・落ち葉が流れてくるときは危険です。すぐに川や水辺から離れましょう。



竜巻に注意！！

竜巻注意情報が出されたり、竜巻が発生していることに気づいたらすぐに身を守るための行動をとってください。

屋外にいたら…

- ・頑丈な建物の中へ避難する。
- ・避難できないときは物陰に入って身を小さくする。
- ・シャッターが開いていたら閉める。
- ・物置や車庫・プレハブ(仮設建築物)への避難は危険！

屋内では…

- ・窓やカーテンを閉めて窓から離れる。大きなガラス窓の下や周囲は大変危険。
- ・家の1階の窓のない部屋に移動する。
- ・丈夫な机やテーブルの下に入るなど、身を小さくして頭を守る。



雷に注意！！

遠くで雷の音がしたら、すでに危険な状況です。自分のいる場所にいつ落雷してもおかしくありません。雷は、雷雲の位置次第で海面、平野、山岳などところを選ばずに落ち、近くに高いものがあるとこれを通って落ちる傾向があります。

安全な場所

- ・鉄筋コンクリート建築、自動車(オープンカーを除く)、バス、列車。

※屋外に比べれば木造建築の内部は安全ですが、すべての電気器具や天井・壁から1m以上離れるとさらに安全です。

危険な場所

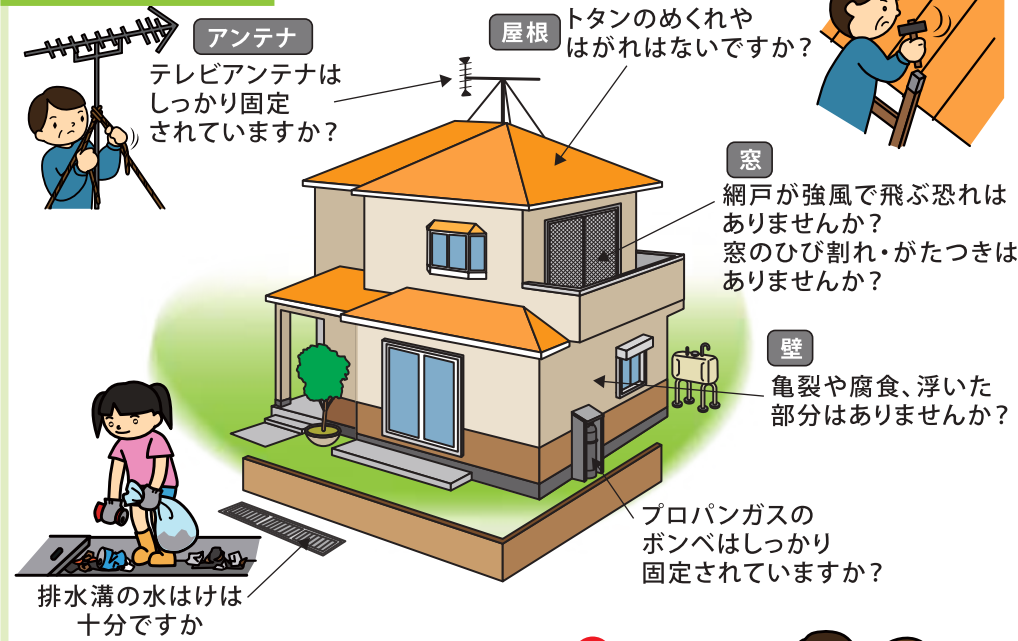
- ・グラウンド、ゴルフ場、屋外プール、堤防や砂浜、海上などのひらけた場所。
- ・山頂や尾根などの高いところ。

※木のそばにいと、木に落ちた雷が人に飛び移ることがあるので、必ず離れましょう。



風水害に備えよう！！

日頃からできること



洪水ハザードマップで避難場所や避難経路を確認しよう！

防災グッズを点検しよう！

危険が近づいてきたら

情報を得る

むやみに外出しない



大雨の時は貴重品を2階へ



強風の時は窓ガラスにガムテープを



飛散の危険が高いものは室内に

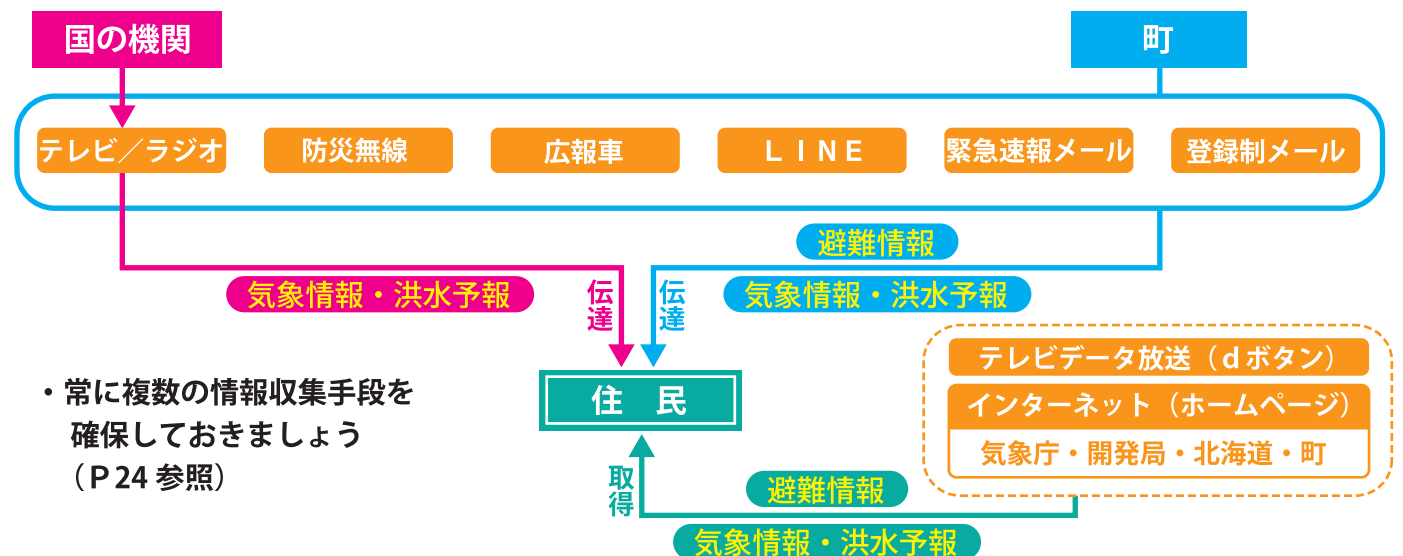


最新の気象情報を収集し、早めの防災行動をとりましょう！！

気象庁は、大雨や暴風などによって発生する災害の防止・軽減のため、気象警報・注意報、特別警報などの気象情報を発表します。最新の気象情報を取得し、早めの防災行動をとりましょう。

特別警報	警報の発表基準をはるかに超える大災害が起こると予想される場合に発表
危険警報	重大な災害が発生するおそれがある場合に発表
警報	重大な災害が発生するおそれがある場合に発表
注意報	大雨、洪水強風などによって災害が発生するおそれがある場合に発表

気象情報や洪水予報、避難情報はどようやって得るの？



警戒レベル4までに必ず避難を！

※災害発生情報を確実に把握することが難しいため、必ず発令するとは限りません。

警戒レベル3

「高齢者等避難」

状況

災害のおそれあり

住民がとるべき行動

<避難に時間を要する方>

危険な場所から避難してください。

<その他の方>

避難準備をしてください。

警戒レベル4

「避難指示」

状況

災害のおそれ高い

住民がとるべき行動

該当する地域の方は、

危険な場所から全員避難してください。

警戒レベル5

「緊急安全確保」

状況

災害発生又は切迫

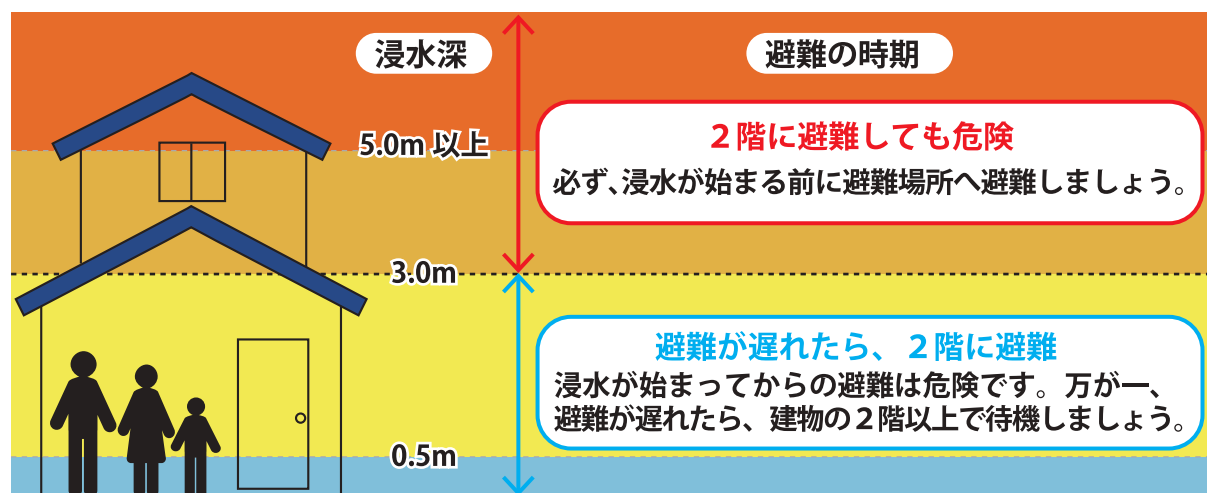
住民がとるべき行動

命の危険が迫っているため、

直ちに身の安全を確保してください。

適切な避難の時期を確認しよう

洪水の正しい避難行動は、「浸水が始まる前に避難する」ですが、万が一の事態に備え、ハザードマップで自宅の浸水深を確認し、下のイラストから避難を判断しましょう。



避難するときの注意点

避難するときは、ガス・電気・火を消し、戸締まりを忘れずに！

動きやすく安全な格好で！

避難するときは、動きやすく安全な服装で。ヘルメットや防災ずきんで頭を保護する。靴はひもでしめられる底の厚い運動靴を。長靴は浸水が深いと中に水がたまるので動きにくくなる。素足は厳禁！



歩ける深さに注意！

歩行可能な水深は、ひざの高さくらい（約50cm）。水の流が速ければ、20cm程度でも要注意！無理をせず、高所で救助を待とう。



車での避難は控えて



車での避難は緊急車両の通行の妨げになるほか、交通渋滞を招く。また、浸水した場合、水圧でドアが開かなくなる危険もある。

足元に注意する！

水面下にはマンホールや側溝などの危険があるので、長い棒を杖代わりに突き、確認しながら進もう。



集団での避難を！

単独行動をせず、集団で避難する。はぐれないようにお互いの体をロープで結ぶ。



火災予防 10項目

1 ストープの近くにものを置かない
給油するときには火を消す。

6 風呂の空だきをしない
点火のときは浴槽の水量を確かめる。
点火・消火は目で確認する。

2 料理のときはその場を離れない
その場から離れるときは火を消す。

7 住宅用火災警報器を設置する
寝具やカーテンなどは防災製品を使用する。

3 寝たばこはしない
たばこの火はしっかり消す。
たばこの投げ捨てはしない。

8 就寝前や外出時は火の元点検
ガスの元栓、煙草の吸殻などの火の元点検を行う習慣をつける。

4 電気器具は正しく使う
たこ足配線をやめる。
コードの上には重いものをのせない。

9 子どもにはマッチやライターで遊ばせない
子どもの目につくところに置かない。
触れさせない。

5 コンセントにはホコリを付着させない
テレビの裏などは注意が必要。

10 家の周りは整理整頓
放火されないように物を置かない。

火災が発生したら...

① 大声で知らせる

「火事だ！」と大声を出して、隣近所に助けを求める。小さな火でも119番に通報する。



② 初期消火を試みる

ボヤでおさまるのは、出火から3分以内が限度。それまでに様々な手段を用いて消火を試みる。



③ すばやく逃げる

天井に火が燃え移ったら初期消火は中断し、煙を吸い込まないように低い姿勢で直ちに避難する。



119番 通報のポイント

119番通報をするときは、冷静に！

落ち着いて、火災やけが・病人等の状況をできるだけ詳しく伝える！

火事？救急？ 火事か救急の別をハッキリと伝える。

場所をハッキリと！ 住所の他に、目標物なども伝える。

建物の種類は？ 木造かビルか、また階数なども伝える。

けが人等は？ 事故や病気・けがの様子をくわしく伝える。

高齢者や乳幼児、病気や障がいがある人、妊産婦、日本語が理解できない外国人など、災害が発生した時に特に配慮を要する人を「**要配慮者**」といい、そのうち、災害時に自ら避難することが困難で、避難行動の際に支援が必要な人を「**避難行動要支援者**」といいます。町では、避難行動要支援者を把握するため、「**避難行動要支援者名簿**」を作成します。また、災害時に迅速かつ適切に避難を行うため、地域の人たちと福祉関係者、行政などが連携し、避難行動要支援者一人ひとりを対象とした「**個別避難計画**」の作成を進めています。

避難行動要支援者名簿に掲載する対象者

- (ア) 介護保険の要支援1・2及び要介護1から5の者
 - (イ) 身体障害者手帳1級又は2級保持者。ただし、聴覚または平衡機能障がい者及び視覚障がい者は3級まで対象とする。
 - (ウ) 精神障害者保健福祉手帳保持者
 - (エ) 療育手帳保持者
 - (オ) その他、災害時において配慮を必要と認められる者（難病患者等）
- ※ただし、避難行動要支援者の要件を満たさない場合でも、以下のケースにより避難行動要支援者として掲載を求めることができる。
- ①避難支援等関係者の判断により、避難行動要支援者として避難行動要支援者名簿への掲載を町に求めた場合
 - ②形式要件から漏れた者が自らの命を主体的に守るため、自ら避難行動要支援者名簿への掲載を町に求めた場合

避難行動要支援者

高齢者・寝たきりの方	肢体が不自由な方
<p>日頃の備え 室内はできるだけ広くし、高いところに重い物などを置かない。</p> <p>災害時には あわてて外に飛び出さない。余震に備えて、家の中の安全な場所に移動する。</p> <p>支援者の方へ 緊急の時は、おぶって安全な場所まで避難する。複数の支援者で対応する。不安を取り除くように声をかける。</p> 	<p>日頃の備え 室内の安全スペースの確保と家具等の転倒防止対策を十分にします。</p> <p>災害時には 車いすは安全な場所に止め、支援者の協力を求める。</p> <p>支援者の方へ 階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。支援者が1人の場合は、おぶりひも等を用意し、おぶって避難する。</p> 
耳が不自由な方	知的障害のある方
<p>日頃の備え 日常から筆記用具を携帯しておく。</p> <p>災害時には メモなどで、正確な情報を周囲の人に聞く。</p> <p>支援者の方へ 話すときは、口の開け方をハッキリとし、相手にわかりやすいようにする。手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。</p> 	<p>日頃の備え 災害時の行動を日頃から繰り返し話して聞かせ、外での危険な場所も教えておく。</p> <p>災害時には 家族や近所の人と行動する。</p> <p>支援者の方へ あわてないように優しい声で指示を出すか、手を取って安全な行動を促す。</p> 
目が不自由な方	内部障害のある方
<p>日頃の備え 白杖は手の届くところに置いておく。家具等の配置変更は本人に必ず伝える。</p> <p>災害時には 災害発生時には笛などを吹き、居場所を知らせる。</p> <p>支援者の方へ 災害時には、声をかけ情報を伝える。誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい、半歩前をゆっくりと歩く。</p> 	<p>日頃の備え 通院が不可能になった場合に備え、主治医やかかりつけの医療機関に相談する。</p> <p>災害時には かかりつけの医療機関の状況を確認する。差し迫った治療がある場合は、医療機関か防災関係機関に相談する。</p> <p>支援者の方へ かかりつけの医療機関をはじめ、病院や救護所などの情報収集の手助けをする。</p> 

各家庭で非常持出品を準備しておきましょう。

食料や水は一人あたり3日分用意しましょう。

■まずは**非常持出品**から。ついで、カバンに**携帯**するもの、**自宅に備蓄**するものを揃えましょう。



■チェックリスト(例)

分類	品 目	メ モ	確 認
バッグ	非常持出袋	軽くて丈夫なものを。	<input type="checkbox"/>
水	飲料水	携帯：500ml、持出：1人2.5L程度。	<input type="checkbox"/>
食	携帯食	キャンディー、栄養補給・調整食品など。	<input type="checkbox"/>
	非常食	乾パンなど、水・調理なしでそのまま食べられるもの。	<input type="checkbox"/>
装備・道具	ヘルメット・防災ずきん・帽子など	頭を保護して逃げるため。持出袋と一緒に置いておく。	<input type="checkbox"/>
	ホイッスル	閉じ込められた際の生存率が上がる。叫ぶより大音量。	<input type="checkbox"/>
	手袋（作業用）	丈夫な素材のものを。防寒用にもなる。	<input type="checkbox"/>
	運動靴・スリッパ	避難するときには、ひもで締められる運動靴を。避難場所ではスリッパがあると便利。	<input type="checkbox"/>
	ヘッドライト、懐中電灯（予備電池）	できれば小型のLEDライトを、1人に1つ。	<input type="checkbox"/>
情報	万能ナイフ類	ハサミ、ナイフ、缶切りなどの複合ツールが便利。	<input type="checkbox"/>
	携帯ラジオ（予備電池も）	手回し充電に対応したラジオが便利。単一乾電池2本（防災無線戸別受信機用）	<input type="checkbox"/>
	携帯電話（充電器・バッテリー）	電池で使える簡易充電器なども用意。	<input type="checkbox"/>
	連絡メモ・備えリスト	頼れる親類縁者友人知人の住所・連絡先等。	<input type="checkbox"/>
	身分証明書（そのコピー）	健康保険証、運転免許証、パスポート、外国人登録証など。	<input type="checkbox"/>
救急・衛生	筆記用具（メモ帳とペン）	安否メッセージを書く、連絡先メモなど用途は様々。	<input type="checkbox"/>
	硬貨	公衆電話、自販機用に10円玉、100円玉を用意。	<input type="checkbox"/>
	救急用品セット	消毒薬、脱脂綿、ガーゼ、絆創膏、包帯、三角巾、爪切り、毛抜き、体温計など。	<input type="checkbox"/>
	持病薬・常備薬・お薬手帳	処方箋のコピーも併せて準備。	<input type="checkbox"/>
	衛生用品	マスク、ティッシュ、トイレトペーパー、ハブラシ、ウエットティッシュ、生理用品（おりものシート）	<input type="checkbox"/>
防寒	携帯トイレ	非常時において、トイレに行けないことはかなり深刻。	<input type="checkbox"/>
	着替え一式		<input type="checkbox"/>
	耳栓	避難場所などに入り、集団生活を送る場合には必須。	<input type="checkbox"/>
汎用	使い捨てカイロ		<input type="checkbox"/>
	アルミマット・寝袋		<input type="checkbox"/>
	タオル	汚れの拭き取り、ケガの手当て、下着の代用等、汎用度高。	<input type="checkbox"/>
	ポリ袋・ラップ	小サイズは食器にかぶせて、中サイズは長靴に、大サイズは被って雨具にと汎用度高。	<input type="checkbox"/>
	レジャーシート・ブルーシート	敷物としてはもちろん、ロープで張って雨よけ、日よけにも。	<input type="checkbox"/>
用	ライター（マッチでも）	暖房器具の点火などに。マッチよりも使い勝手がよい。	<input type="checkbox"/>
	布ガムテープ	仮止め、各種応急処置、屋外に貼る伝言メモ等汎用度高。	<input type="checkbox"/>
	ハザードマップ		<input type="checkbox"/>

■非常持出品を揃える心がけ

- 食料や日用品を買い置きし、消費した分を買い足すことで一定量の備蓄を保つという方法（ローリングストック）をとりましょう。
- 水や食品の賞味期限、薬品や電池の使用期限をチェックしましょう。
- 家族構成を考えて揃えましょう。
赤ちゃんのいる家庭：ミルク・ほ乳瓶・おむつ
高齢者のいる家庭：入れ歯・服用薬・補聴器・杖





【行政区別】指定緊急避難場所

指定緊急避難場所とは、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合にその危険から逃れるための避難場所

行政区名	地震 緊急避難場所	洪水 緊急避難場所	土砂災害 緊急避難場所
1 本町1	農業者トレーニングセンター(前)	—	—
2 本町2	農業者トレーニングセンター(前)	—	—
3 本町3	農業者トレーニングセンター(前)	—	—
4 幸町	農業者トレーニングセンター(前)	—	—
5 旭町1	幕別北コミュニティセンター(前)	—	—
6 旭町2	幕別北コミュニティセンター(前)	—	—
7 旭町4	幕別北コミュニティセンター(前)	—	—
8 錦町1	農業者トレーニングセンター(前)	—	幕別町民会館(前)
9 桜町2	農業者トレーニングセンター(前)	—	—
10 寿町1	中札内高等養護学校幕別分校(グラウンド)	—	—
11 寿町2	中札内高等養護学校幕別分校(グラウンド)	—	—
12 寿町3	中札内高等養護学校幕別分校(グラウンド)	—	幕別町民会館(前)
13 宝町	幕別小学校(グラウンド)	—	—
14 南町1	中札内高等養護学校幕別分校(グラウンド)	—	—
15 南町2	中札内高等養護学校幕別分校(グラウンド)	—	—
16 緑町1	幕別小学校(グラウンド)	—	—
17 緑町2	幕別中学校(グラウンド)	—	—
18 緑町3	幕別中学校(グラウンド)	—	—
19 緑町4	幕別中学校(グラウンド)	—	—
20 新町	幕別小学校(グラウンド)	—	—
21 相川	相川農業担い手会館(前)	農業者トレーニングセンター(前)	—
22 相川南	相川南近隣センター(前)	農業者トレーニングセンター(前)	—
23 相川西	相川西近隣センター(前)	農業者トレーニングセンター(前)	—
24 相川北	相川北近隣センター(前)	農業者トレーニングセンター(前)	—
25 大豊	大豊近隣センター(前)	—	—
26 豊岡1	稲志別近隣センター(前)	—	—
27 豊岡2	稲志別近隣センター(前)	—	豊岡近隣センター(前)
28 明野南	明野近隣センター(前)	明野近隣センター(前)	—
29 明野北	明野近隣センター(前)	明野近隣センター(前)	—
30 新川	新川近隣センター(前)	新川近隣センター(前)	新川近隣センター(前)
31 軍岡	軍岡集落センター(前)	農業者トレーニングセンター(前)	軍岡集落センター(前)
32 南勢	南勢近隣センター(前)	南勢近隣センター(前)	南勢近隣センター(前)
33 猿別	猿別近隣センター(前)	農業者トレーニングセンター(前)	猿別近隣センター(前)
34 西猿別	西猿別近隣センター(前)	農業者トレーニングセンター(前)	西猿別近隣センター(前)
35 新和	新和近隣センター(前)	新和近隣センター(前)	—
36 中央町1	札内中央近隣センター(前)	札内コミュニティプラザ(前)※	—
37 中央町2	札内中央公園	札内コミュニティプラザ(前)※	—
38 中央町3	札内コミュニティプラザ(前)	札内コミュニティプラザ(前)※	—
39 豊町	豊町東公園	札内コミュニティプラザ(前)※	—
40 春日町	札内東中学校(グラウンド)	札内コミュニティプラザ(前)※	—
41 東春日町	札内東中学校(グラウンド)	札内コミュニティプラザ(前)※	—
42 泉町	せせらぎ公園	札内南小学校(グラウンド)	—
43 泉東	泉町おしどり公園	札内南小学校(グラウンド)	—
44 あかしや	あかしや公園	札内南小学校(グラウンド)	—
45 あかしや南1	なかよし公園	札内南小学校(グラウンド)	—
46 あかしや南2	なかよし公園	札内南小学校(グラウンド)	—
47 あかしや中央	札内中学校(グラウンド)	札内南小学校(グラウンド)	—
48 文京町	札内南小学校(グラウンド)	札内南小学校(グラウンド)	札内南小学校(グラウンド)
49 みずほ町	札内南小学校(グラウンド)	札内南小学校(グラウンド)	—
50 若草町1	若草南公園	札内中学校(グラウンド)	—
51 若草町2	若草南公園	札内中学校(グラウンド)	—
52 若草町3	若草南公園	札内中学校(グラウンド)	—
53 桂町1	桂町むつみ公園	札内中学校(グラウンド)	—
54 桂町2	桂町公園	札内中学校(グラウンド)	—
55 桂町3	桂町公園	札内中学校(グラウンド)	—
56 共栄町1	共栄せせらぎ公園	札内中学校(グラウンド)	—
57 共栄町2	共栄町公園	札内北小学校(グラウンド)※	—

注1) 避難場所の名称に記載されている(前)や(グラウンド)には、その施設の駐車場やグラウンド等以外の広場も含まれています。

として、地震や洪水・土砂災害などの災害の種類ごとに一定の基準を満たした施設又は場所を町が指定したものです。

行政区名	地震 緊急避難場所	洪水 緊急避難場所	土砂災害 緊急避難場所
58 共栄町3	若草南公園	札内中学校(グラウンド)	—
59 新北町東	はるかぜ公園	札内北小学校(グラウンド)※	—
60 新北町西	新北町公園	札内北小学校(グラウンド)※	—
61 北町1	札内北公園	札内北小学校(グラウンド)※	—
62 北町2	はぐくみ公園	札内北小学校(グラウンド)※	—
63 北町3	そよかぜ公園	札内北小学校(グラウンド)※	—
64 桜町北	札内北小学校(グラウンド)	札内北小学校(グラウンド)※	—
65 桜町中央	札内北小学校(グラウンド)	札内北小学校(グラウンド)※	—
66 桜町南	桜町東公園	札内北小学校(グラウンド)※	—
67 青葉町1	札内コミュニティプラザ(前)	札内コミュニティプラザ(前)※	—
68 青葉町2	白人小学校(グラウンド)	札内コミュニティプラザ(前)※	—
69 西町1	西町南公園	札内中学校(グラウンド)	—
70 西町2	西町北公園	札内北小学校(グラウンド)※	—
71 北栄町1	札内西公園	札内中学校(グラウンド)	—
72 北栄町2	札内西公園	札内中学校(グラウンド)	—
73 札内区	札内スポーツセンター(前)	札内北小学校(グラウンド)※	—
74 暁町東	札内スポーツセンター(前)	札内コミュニティプラザ(前)※	—
75 暁町西	暁町西公園	札内コミュニティプラザ(前)※	—
76 暁町北	暁町北公園	札内コミュニティプラザ(前)※	—
77 千住1	千住西ふれあい交流館(前)	札内北小学校(グラウンド)※	—
78 千住2	千住西ふれあい交流館(前)	札内北小学校(グラウンド)※	—
79 千住東	相川西近隣センター(前)	札内南小学校(グラウンド)	—
80 稲志別	稲志別近隣センター(前)	札内南小学校(グラウンド)	稲志別近隣センター(前)
81 中稲志別	稲志別近隣センター(前)	—	稲志別近隣センター(前)
82 新生	稲志別近隣センター(前)	札内南小学校(グラウンド)	稲志別近隣センター(前)
83 依田	依田近隣センター(前)	依田近隣センター(前)	依田近隣センター(前)
84 西和	依田近隣センター(前)	依田近隣センター(前)	—
85 昭和	札内南小学校(グラウンド)	札内南小学校(グラウンド)	札内南小学校(グラウンド)
86 上稲志別	途別小学校(グラウンド)	—	—
87 日新1	日新近隣センター(前)	—	日新近隣センター(前)
88 日新2	日新近隣センター(前)	—	日新近隣センター(前)
89 途別	途別小学校(グラウンド)	途別小学校(グラウンド)	途別保育所(前)
90 古舞	古舞小学校(グラウンド)	明倫小学校(グラウンド)	明倫小学校(グラウンド)
91 糠内市街	糠内小学校(グラウンド)	糠内小学校(グラウンド)	糠内小学校(グラウンド)
92 五位	糠内小学校(グラウンド)	糠内小学校(グラウンド)	糠内小学校(グラウンド)
93 糠内第一	糠内小学校(グラウンド)	—	糠内小学校(グラウンド)
94 西糠内	糠内小学校(グラウンド)	糠内小学校(グラウンド)	糠内小学校(グラウンド)
95 中糠内	糠内小学校(グラウンド)	糠内小学校(グラウンド)	糠内小学校(グラウンド)
96 美川	美川農業担い手会館(前)	美川農業担い手会館(前)	美川農業担い手会館(前)
97 明倫	明倫小学校(グラウンド)	—	明倫小学校(グラウンド)
98 中里	まなびや中里(前)	—	糠内小学校(グラウンド)
99 駒島	集団研修施設こまはた(グラウンド)	集団研修施設こまはた(グラウンド)※	集団研修施設こまはた(グラウンド)
100 忠類栄町	忠類中学校(グラウンド)	忠類中学校(グラウンド)※	—
101 忠類幸町	忠類小学校(グラウンド)	忠類小学校(グラウンド)※	—
102 忠類本町	忠類コミュニティセンター(前)	忠類コミュニティセンター(前)※	—
103 忠類錦町	忠類コミュニティセンター(前)	忠類コミュニティセンター(前)※	—
104 忠類白銀町	忠類小学校(グラウンド)	忠類小学校(グラウンド)※	—
105 忠類西当	忠類中学校(グラウンド)	忠類中学校(グラウンド)※	—
106 忠類上忠類	忠類小学校(グラウンド)	忠類小学校(グラウンド)※	—
107 忠類上当	上当近隣センター(前)	忠類中学校(グラウンド)※	—
108 忠類東宝	忠類コミュニティセンター(前)	忠類コミュニティセンター(前)※	忠類コミュニティセンター(前)
109 忠類元忠類	忠類コミュニティセンター(前)	—	忠類コミュニティセンター(前)
110 忠類幌内	忠類コミュニティセンター(前)	—	忠類コミュニティセンター(前)
111 忠類新生	忠類コミュニティセンター(前)	—	—
112 忠類豊成	忠類コミュニティセンター(前)	忠類コミュニティセンター(前)※	—
113 忠類晩成	晩成行政区会館(大樹町)	—	—

注2) 表中の「—」は、その行政区に対象となる災害の危険性が極めて低い又は危険性がないため、避難場所を指定していません。

注3) ※のついている避難場所は、浸水を確認した場合、速やかに建物内へ避難してください。



【行政区別】指定避難所

指定避難所とは、災害の危険性があり避難した住民等を災害の危険性がなくなるまで必要な間滞在させ、また

は災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させるための施設として町が指定したものです。

行政区名	地震避難所	洪水避難所	土砂災害避難所
1 本町1	農業者トレーニングセンター	—	—
2 本町2	農業者トレーニングセンター	—	—
3 本町3	農業者トレーニングセンター	—	—
4 幸町	農業者トレーニングセンター	—	—
5 旭町1	幕別北コミュニティセンター	—	—
6 旭町2	幕別北コミュニティセンター	—	—
7 旭町4	幕別北コミュニティセンター	—	—
8 錦町1	農業者トレーニングセンター	—	幕別町民会館
9 錦町2	農業者トレーニングセンター	—	—
10 寿町1	中札内高等養護学校幕別分校	—	—
11 寿町2	中札内高等養護学校幕別分校	—	—
12 寿町3	中札内高等養護学校幕別分校	—	幕別町民会館
13 宝町	幕別小学校	—	—
14 南町1	中札内高等養護学校幕別分校	—	—
15 南町2	中札内高等養護学校幕別分校	—	—
16 緑町1	幕別小学校	—	—
17 緑町2	幕別中学校	—	—
18 緑町3	幕別中学校	—	—
19 緑町4	幕別中学校	—	—
20 新町	幕別小学校	—	—
21 相川	農業者トレーニングセンター	農業者トレーニングセンター	—
22 相川南	農業者トレーニングセンター	農業者トレーニングセンター	—
23 相川西	農業者トレーニングセンター	農業者トレーニングセンター	—
24 相川北	農業者トレーニングセンター	農業者トレーニングセンター	—
25 大豊	大豊近隣センター	—	—
26 豊岡1	稲志別近隣センター	—	—
27 豊岡2	稲志別近隣センター	—	稲志別近隣センター
28 明野南	幕別小学校	幕別小学校	—
29 明野北	幕別小学校	幕別小学校	—
30 新川	新川近隣センター	幕別小学校	新川近隣センター
31 軍岡	中札内高等養護学校幕別分校	農業者トレーニングセンター	軍岡集落センター
32 南勢	南勢近隣センター	南勢近隣センター	南勢近隣センター
33 猿別	猿別近隣センター	農業者トレーニングセンター	猿別近隣センター
34 西猿別	西猿別近隣センター	農業者トレーニングセンター	西猿別近隣センター
35 新和	新和近隣センター	新和近隣センター	—
36 中央町1	札内コミュニティプラザ	札内コミュニティプラザ	—
37 中央町2	札内コミュニティプラザ	札内コミュニティプラザ	—
38 中央町3	札内東中学校	札内コミュニティプラザ	—
39 豊町	札内スポーツセンター	札内コミュニティプラザ	—
40 春日町	札内東中学校	札内コミュニティプラザ	—
41 東春日町	札内東中学校	札内コミュニティプラザ	—
42 泉町	札内南小学校	札内南小学校	—
43 泉東	札内南小学校	札内南小学校	—
44 あかしゃ	札内中学校	札内南小学校	—
45 あかしゃ南1	札内南小学校	札内南小学校	—
46 あかしゃ南2	札内南小学校	札内南小学校	—
47 あかしゃ中央	札内中学校	札内南小学校	—
48 文京町	札内南小学校	札内南小学校	札内南小学校
49 みずほ町	札内南小学校	札内南小学校	—
50 若草町1	札内中学校	札内中学校	—
51 若草町2	札内中学校	札内中学校	—
52 若草町3	札内中学校	札内中学校	—
53 桂町1	札内中学校	札内中学校	—
54 桂町2	札内中学校	札内中学校	—
55 桂町3	札内中学校	札内中学校	—
56 共栄町1	札内北小学校	札内中学校	—
57 共栄町2	札内北小学校	札内北小学校	—

行政区名	地震避難所	洪水避難所	土砂災害避難所
58 共栄町3	札内北小学校	札内中学校	—
59 新北町東	札内北小学校	札内北小学校	—
60 新北町西	札内北小学校	札内北小学校	—
61 北町1	札内北小学校	札内北小学校	—
62 北町2	札内北小学校	札内北小学校	—
63 北町3	札内北小学校	札内北小学校	—
64 桜町北	札内北小学校	札内北小学校	—
65 桜町中央	札内北小学校	札内北小学校	—
66 桜町南	札内北小学校	札内北小学校	—
67 青葉町1	白人小学校	札内コミュニティプラザ	—
68 青葉町2	白人小学校	札内コミュニティプラザ	—
69 西町1	札内北コミュニティセンター	札内中学校	—
70 西町2	札内北コミュニティセンター	札内北小学校	—
71 北栄町1	札内北コミュニティセンター	札内中学校	—
72 北栄町2	札内北コミュニティセンター	札内中学校	—
73 札内区	札内スポーツセンター	札内北小学校	—
74 暁町東	札内スポーツセンター	札内コミュニティプラザ	—
75 暁町西	札内スポーツセンター	札内コミュニティプラザ	—
76 暁町北	札内スポーツセンター	札内コミュニティプラザ	—
77 千住1	白人小学校	札内北小学校	—
78 千住2	白人小学校	札内北小学校	—
79 千住東	白人小学校	札内南小学校	—
80 稲志別	稲志別近隣センター	札内南小学校	稲志別近隣センター
81 中稲志別	稲志別近隣センター	—	稲志別近隣センター
82 新生	稲志別近隣センター	札内南小学校	稲志別近隣センター
83 依田	依田近隣センター	札内南小学校	依田近隣センター
84 西和	依田近隣センター	札内南小学校	—
85 昭和	札内南小学校	札内南小学校	札内南小学校
86 上稲志別	途別小学校	—	—
87 日新1	途別小学校	—	日新近隣センター
88 日新2	途別小学校	—	日新近隣センター
89 途別	途別小学校	途別小学校	札内南小学校
90 古舞	古舞小学校	明倫小学校	明倫小学校
91 糠内市街	糠内小学校	糠内小学校	糠内小学校
92 五位	糠内小学校	糠内小学校	糠内小学校
93 糠内第一	糠内小学校	—	糠内小学校
94 西糠内	糠内小学校	糠内小学校	糠内小学校
95 中糠内	糠内小学校	糠内小学校	糠内小学校
96 美川	美川農業担い手会館	美川農業担い手会館	美川農業担い手会館
97 明倫	明倫小学校	—	明倫小学校
98 中里	まなびや中里	—	糠内小学校
99 駒島	集団研修施設こまはた	集団研修施設こまはた	集団研修施設こまはた
100 忠類栄町	忠類中学校	忠類中学校	—
101 忠類幸町	忠類小学校	忠類小学校	—
102 忠類本町	忠類コミュニティセンター	忠類コミュニティセンター	—
103 忠類錦町	忠類コミュニティセンター	忠類コミュニティセンター	—
104 忠類白銀町	忠類小学校	忠類小学校	—
105 忠類西当	忠類中学校	忠類中学校	—
106 忠類上忠類	忠類小学校	忠類小学校	—
107 忠類上当	忠類中学校	忠類中学校	—
108 忠類東宝	忠類コミュニティセンター	忠類コミュニティセンター	忠類コミュニティセンター
109 忠類元忠類	忠類コミュニティセンター	—	忠類コミュニティセンター
110 忠類幌内	忠類コミュニティセンター	—	忠類コミュニティセンター
111 忠類新生	忠類コミュニティセンター	—	—
112 忠類豊成	忠類コミュニティセンター	忠類コミュニティセンター	—
113 忠類晩成	忠類コミュニティセンター/晩成行政区会館(大樹町)※津波時	—	—

注) 表中の「—」は、その行政区に対象となる災害の危険性が極めて低い又は危険性がないため、避難所を指定していません。



指定緊急避難場所一覧

広域避難場所：火災が延焼拡大して危険になったときに避難する場所です。

名称	所在地	電話番号	地震	洪水	土砂災害	広域避難場所
農業者トレーニングセンター(前)	錦町 98	0155-54-2106	●	●		●
幕別町民会館(前)	本町 144	0155-54-3030			●	
幕別北コミュニティセンター(前)	旭町 18-7	0155-54-4356	●			●
幕別小学校(グラウンド)	緑町 26-1	0155-54-2424	●			●
幕別中学校(グラウンド)	緑町 20	0155-54-2356	●			●
中札内高等養護学校幕別分校(グラウンド)	南町 81-1	0155-54-2977	●			●
明野近隣センター(前)	明野 210-3	—	●	●		
軍岡集落センター(前)	軍岡 537-3	—	●		●	
豊岡近隣センター(前)	豊岡 5-64	—	●		●	
西猿別近隣センター(前)	猿別 270	—	●		●	
猿別近隣センター(前)	猿別 106-1	—	●		●	
南勢近隣センター(前)	南勢 226-1	—	●	●	●	
大豊近隣センター(前)	大豊 230-1	—	●			
新川近隣センター(前)	新川 64-4	—	●	●	●	
新和近隣センター(前)	新和 162-128	0155-57-2508	●	●		
相川農業担い手会館(前)	相川 720-1	—	●			
相川西近隣センター(前)	相川 403-1	—	●			
相川南近隣センター(前)	相川 784-3	—	●			
相川北近隣センター(前)	相川 313	—	●			
千住西ふれあい交流館(前)	千住 161-13	—	●			
糠内小学校(グラウンド)	糠内 272	0155-57-2240	●	●	●	
明倫小学校(グラウンド)	明倫 38-13	0155-57-2306	●	●	●	
美川農業担い手会館(前)	美川 203	—	●	●	●	
まなびや中里(前)	中里 155	0155-57-2721	●			
集団研修施設こまはた(グラウンド)	駒島 549	0155-57-2261	●	●	●	
古舞小学校(グラウンド)	古舞 694	0155-57-2672	●			
途別小学校(グラウンド)	途別 222-1	0155-56-5426	●	●		
日新近隣センター(前)	日新 1-38	—	●		●	
途別保育所(前)	途別 231-2	0155-56-5583	●		●	
依田近隣センター(前)	依田 203	—	●	●	●	
稲志別近隣センター(前)	千住 488-2	—	●		●	
豊町東公園	札内豊町 37	—	●			
札内スポーツセンター(前)	札内暁町 287	0155-56-4083	●			
暁町西公園	札内暁町 252-56	—	●			
暁町北公園	札内暁町 248-1 他	—	●			
白人小学校(グラウンド)	札内青葉町 185-1	0155-56-2004	●			
札内中央近隣センター(前)	札内中央町 395-1	—	●			
札内中央公園	札内中央町 323-1 他	—	●			
札内コミュニティプラザ(前)	札内青葉町 311-11	0155-56-7873	●	● ※		
札内東中学校(グラウンド)	札内青葉町 185-4	0155-56-5745	●			
せせらぎ公園	札内泉町 73-2	—	●			
泉町おしどり公園	札内泉町 79	—	●			
なかよし公園	札内あかしや町 43-7	—	●			
札内南小学校(グラウンド)	札内文京町 29-1	0155-56-2314	●	●	●	●
札内南コミュニティセンター(前)	札内文京町 28-8	0155-56-6518	●	●		
若草南公園	札内若草町 555-4 他	—	●			● ※
桂町むつみ公園	札内桂町 560-1	—	●			
桂町公園	札内桂町 571-41	—	●			
あかしや公園	札内あかしや町 59-2	—	●			
札内中学校(グラウンド)	札内文京町 29	0155-56-2015	●	●		●
共栄せせらぎ公園	札内共栄町 46	—	●			
共栄町公園	札内共栄町 21-1	—	●			
札内西公園	札内北栄町 60	—	●			● ※
はるかぜ公園	札内新北町 75-9	—	●			
新北町公園	札内新北町 25-4	—	●			
スマイルパーク	千住 180-1 他	—				● ※
札内北小学校(グラウンド)	札内北町 117-1	0155-56-5051	●	● ※		● ※
札内北公園	札内北町 117-3 他	—	●			

名称	所在地	電話番号	地震	洪水	土砂災害	広域避難場所
はくくみ公園	札内北町 135	—	●			
そよかぜ公園	札内北町 24-7	—	●			
桜町東公園	札内桜町 114-1	—	●			
西町南公園	札内西町 93-3	—	●			
西町北公園	札内西町 48	—	●			
いなほ公園	札内みずほ町 160-14 他	—				● ※
道の駅忠類前	忠類白銀町 383-9	01558-8-3236				● ※
忠類中学校(グラウンド)	忠類栄町 297-1	01558-8-2139	●	● ※		● ※
忠類小学校(グラウンド)	忠類白銀町 426	01558-8-2209	●	● ※		● ※
忠類コミュニティセンター(前)	忠類錦町 439-1	01558-8-2201	●	● ※	●	● ※
上当近隣センター(前)	忠類協徳 246-2	—	●			
晩成行政区会館(大樹町) ※津波時	大樹町字晩成 209	—	●			

注1) ※のついてる洪水の避難場所は、浸水を確認した場合、速やかに建物内へ避難してください。

注2) ※のついてる広域避難場所は、浸水等の複合災害が発生、または発生するおそれがある場合には避難場所から除きます。



指定避難所一覧

名称	所在地	電話番号	地震	洪水	土砂災害
農業者トレーニングセンター	錦町 98	0155-54-2106	●	●	
幕別町民会館	本町 144	0155-54-3030			●
幕別北コミュニティセンター	旭町 18-7	0155-54-4356	●		
幕別小学校	緑町 26-1	0155-54-2424	●	●	
幕別中学校	緑町 20	0155-54-2356	●		
中札内高等養護学校幕別分校	南町 81-1	0155-54-2977	●		
軍岡集落センター	軍岡 537-3	—			●
西猿別近隣センター	猿別 270	—	●		●
猿別近隣センター	猿別 106-1	—	●		●
南勢近隣センター	南勢 226-1	—	●	●	●
大豊近隣センター	大豊 230-1	—	●		
新川近隣センター	新川 64-4	—	●		●
新和近隣センター	新和 162-128	0155-57-2508	●	●	
糠内小学校	糠内 272	0155-57-2240	●	●	●
明倫小学校	明倫 38-13	0155-57-2306	●	●	●
美川農業担い手会館	美川 203	—	●	●	●
まなびや中里	中里 155	0155-57-2721	●		
集団研修施設こまはた	駒島 549	0155-57-2261	●	●	●
古舞小学校	古舞 694	0155-57-2672	●		
途別小学校	途別 222-1	0155-56-5426	●	●	
日新近隣センター	日新 1-38	—			●
依田近隣センター	依田 203	—	●		●
稲志別近隣センター	千住 488-2	—	●		●
札内スポーツセンター	札内暁町 287	0155-56-4083	●		
白人小学校	札内青葉町 185-1	0155-56-2004	●		
札内コミュニティプラザ	札内青葉町 311-11	0155-56-7873	●	●	
札内東中学校	札内青葉町 185-4	0155-56-5745	●		
札内南小学校	札内文京町 29-1	0155-56-2314	●	●	●
札内中学校	札内文京町 29	0155-56-2015	●	●	
札内北小学校	札内北町 117-1	0155-56-5051	●	●	
札内北コミュニティセンター	札内桜町 132-1	0155-25-5221	●		
忠類中学校	忠類栄町 297-1	01558-8-2139	●	●	
忠類小学校	忠類白銀町 426	01558-8-2209	●	●	
忠類コミュニティセンター	忠類錦町 439-1	01558-8-2201	●	●	●
晩成行政区会館(大樹町) ※津波時	大樹町字晩成 209	—	●		

自主防災組織とは

「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えで、**地域の人々が自発的に防災活動を行う組織**です。
 災害から身を守るには、自分の身は自分で守る「自助」と、住民が協力し地域ぐるみで取り組む「共助」が必要で、それを生かすために「自主防災組織」の存在は不可欠です。
 阪神淡路大震災では、救出された人の約8割が家族や近所の方々により救出されました。

自主防災組織は、どんな活動をするの？

平常時…災害に備えた訓練などの活動
災害時…避難誘導や救出救護、給食給水活動などさまざまな共助活動を行う。
 通常の地域活動などに防災に関連した要素を盛り込み、日頃からみんなで連携し合いながら防災意識を高めましょう。

自主防災組織の一例	本部	情報班	救出救護班	給食給水班	避難誘導班	消火班
平常時の活動 ・役場、消防署との連絡調整 ・研修会・防災訓練の実施 	・危険箇所の把握 ・避難先の把握 ・情報収集・伝達訓練 	・防災資機材の点検 ・救急講習の受講 	・給食・給水訓練の実施 ・給水場所の把握 	・避難場所の周知 ・要支援者の把握 	・家庭内の安全点検の指導 ・消火器などの点検 	
	災害時の活動 ・活動班との連絡 ・役場、消防署などへの連絡 	・災害情報の伝達 ・安否の確認 	・生き埋め者などの救出 ・負傷者の応急手当 	・救援物資の調達配分 ・炊き出し 	・避難経路の安全確認 ・お年寄りなどの避難誘導 	・出火防止の呼びかけ ・初期消火 

出血

①まず傷口を清潔な水で洗淨する。



②清潔なガーゼやハンカチを傷口に当て、手で圧迫するなど応急手当をし、急いで病院へ。



※止血した時間をメモしておき医師に報告する。



骨折

①患部を動かさないようにして副木（なければ板や段ボール、傘、雑誌などでもよい）を当てて固定し早めに医療機関へ。



やけど

①急いで水道水などの流水で冷やす。
 ②衣服の上からやけどをした場合は、無理に脱がさず、そのまま冷やす。
 ③冷やした後は清潔なガーゼなどで軽く包み、急いで医療機関へ。



心臓マッサージ

①胸骨と剣状突起の中心に手を置き、もう一方の手を重ねる。



②肘を伸ばして垂直に圧迫する。
 ※両手で胸が3～5cm沈むくらい圧迫。

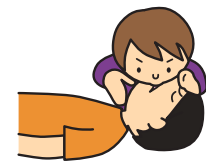


人工呼吸

①頭を後ろにそらせ、鼻をつまむ。



②大きく口を開けて、傷病者の口を覆い息を吹き込む。
 1回の吹き込みは1～1.5秒。



③傷病者の吐き出す息と胸腹部の動きを見る。



避難時の感染症対策

災害時は、災害から命を守るために避難が必要ですが、停電や断水等が起きても自宅が安全な場合は必ずしも避難所に避難する必要はありません。
 感染症流行時にリスクを下げるため、自宅や親戚・知人の家、宿泊施設などの避難所以外の安全な場所への避難（分散避難）ができる方は、普段から避難の方法を決めておきましょう。

（分散避難の例）

在宅避難（安全性の確認が必要）	ハザードマップで自宅が安全な場所か確認し、水や食糧、日用品を3日間（できれば7日間）分準備しておきましょう。
安全な親戚・知人宅への避難	普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。
安全なホテル・旅館への避難	通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。
指定避難所への避難	感染症対策として、非常持ち出し袋にマスクや体温計、消毒液、使い捨て手袋を入れておきましょう。
車中避難場所*への避難	道路や周囲の状況が確認できる明るいうちに避難しましょう。また、エコノミークラス症候群や一酸化炭素中毒に注意しましょう。

※幕別町との防災協定により、災害時は帯広国際カントリークラブ（字千住）や十勝ヒルズ（字日新）の駐車場への車中避難も可能です。

女性の視点からの避難所運営

過去の災害において、

- ・女性用のトイレの数が少なく、混雑することが多い
- ・運営委員会に男性リーダーしかいないため、女性ならではの悩みが言えない
- ・食事づくりは女性ばかりが担当している

など、女性の視点の欠如から、避難所運営などに関し様々な問題が起きています。

そのような問題を解決するためには、**避難所運営に女性役員を配置し、男女で協力することが不可欠**です。

ペットとの避難

災害が発生し、避難が必要と判断したら、避難所などの安全な場所にペットと同行して避難しましょう。

なお、避難所ではペットが苦手な人やアレルギーのある人に特段の配慮をする必要があるため、**避難所に連れてきたペットは、屋外での飼育が基本となります**。屋外飼育ができない場合は、自宅での在宅避難、親戚・知人宅に預ける、車中避難（いずれも安全な場所であることの確認は必要）など、あらかじめ避難所以外の避難方法について検討しておきましょう。

また、以下のような備えも大切です。

- ・日頃食べさせているエサや水、ケージやキャリーバッグなどのペット用の避難用品や備蓄品の準備・確保
- ・むやみに吠えない、ケージやキャリーバッグに慣れさせておくなどの基本的なしつけしておく。